

会長メッセージ

革新的サービスの提供で成長する 当社の経営基盤・ガバナンス体制を 強固なものに

この度は、第17期 定時株主総会にて代表取締役会長にご選任いただき、誠にありがとうございます。私は1989年に三井住友信託銀行(株)(当時の「住友信託銀行(株)」)に入社いたしました。実は、当社とは20年前から関わりがあり、当時、まだまだインターネットの普及がこれからという段階ではありましたが、インターネットを通じてさまざまな新しい金融商品の販売が可能になること、窓口にはばなければならない・紙でやり取りしなければならないなど、お客さまにとって煩わしかった銀行関連業務をインターネットを活用することで便利にするなど、「ネット銀行」の可能性を強く感じ、創業に携わらせていただきました。

その後、単なる銀行サービスの提供に留まらず、テクノロジーを中心とした革新的なサービスを生み出し続け「テクノロジーカンパニー」として着実に成長を遂げた当社を誇らしく感じております。

金融政策の調整やデジタル化の波、生成AIの台頭など多様化する経済環境の中で、銀行業界はさまざまな課題に直面しています。デジタルバンク事業・BaaS事業・THEMIX事業の各分野で「プラットフォーム」事業を展開する当社も、住宅ローンを中心としたよい商品を幅広くお客さまに提供し、時代に即した形で社会に貢献すべきと考えております。また、急速に変化する環境の中で当社の競争優位性を常に高め、業界の「トップランナー」であり続けるために、AIなどの最先端テクノロジーを積極的に活用し、「創造」と「変革」につながるサービスを生み出し続けるこ

とが必要です。こういった新しいサービス創出やクロスセルなどを通じて既存のサービスの収益力を高めることにより、持続的な成長とさらなる企業価値の向上を実現したいと思っております。

挑戦を続ける当社ゆえに、前例のない事案・迷うような局面も出てくるでしょう。私は代表取締役会長として、経営会議などの執行に関する意思決定の場では多様な意見を引き出し、さまざまな戦略オプションについて議論の活性化を促すとともに、健全な議論がおこなわれるように牽制を働かせてまいります。また取締役会においては、社外役員の見聞や経験をフル活用したうえで、独立した上場企業としての執行に対する監督機能の強化やコーポレートガバナンスの実効性向上をリードいたします。コーポレートガバナンス・コードの各要件を充足することは勿論のこと、重要なステークホルダーである株主・投資家の皆さまのご期待に応えるべく、継続的に内部統制や独立性の強化を図ってまいりたいと思っております。

こうした「攻め」と「守り」を代表取締役の立場から統制することで、「社会課題の解決」および「新たな価値創造」に継続的に取り組み、当社のさらなる成長に誠心誠意、貢献してまいりたいと思っております。

代表取締役会長
兼 会長執行役員
松本 安永